

10/15

やましな

山科区シンボルマーク

市民しんぶん山科区版 <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/>

総人口	135,292人
男性	64,323人
女性	70,969人
世帯数	58,835世帯
平成25年9月1日現在(推計人口)	
交通事故	546件(-1)
死者	5人(+3)
負傷者	640人(-43)
火災	13件(-2)
救急	4,933件(+246)
平成25年9月15日現在	
※交通事故(概数)は、醍醐を含む	

※()内は昨年同月比

大雨による水災害に備えて あらためてご確認ください



このたび、台風18号の被害に遭われた区民の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

区役所においても、関係部署等と連携・協力のうへ、皆さまに必要な情報提供など支援に全力を尽くしてまいります。

●水災害対策は気象情報の収集から

気象情報は、気象庁から報道機関等を通じて区民の皆さまに伝えられる最も身近な防災に関する情報です。注意報や警報が発表されたら、テレビやラジオなどからの情報収集に心がけましょう。

やや強い雨 ザーザーと降る。	強い雨 どしゃ降り。	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る。	非常に激しい雨 滝のように降る(ゴォーと降り続く)。	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
1時間に 10~20mm	1時間に 20~30mm	1時間に 30~50mm	1時間に 50~80mm	1時間に 80mm~
気象情報の注意報・警報		大雨洪水注意報		
人への影響/屋外の様子		大雨洪水警報		
地面からの跳ね返りで足元がぬれる。地面一面に水たまりができる。	傘をさしているもぬれる。	道路が川のようになる。	傘は全く役に立たない。水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	

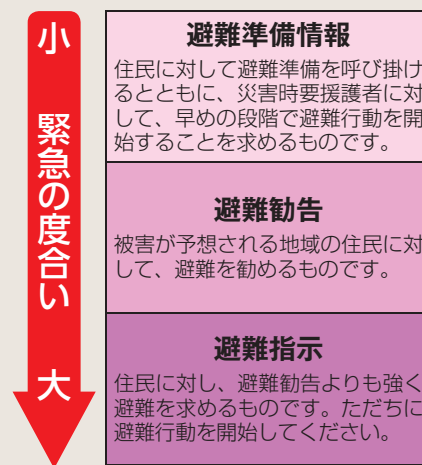
●避難所へ移動するときの注意事項

持出品は最小限に。動きやすい服装で。長靴ではなく、運動靴を履きましょう。	浸水が始まっていたら、状況に応じて建物の2階以上や近所の高い建物へ避難しましょう。
避難時には火元を点検しましょう。電気のブレーカーを切り、戸締りをしましょう。	避難は徒歩で。車での移動は避けましょう。(マフラーに水が入り、電気系統が故障すると動けなくなります)
足元に注意。浸水している場所を歩く時には棒などでマンホールや側溝等に注意しましょう。	高齢者や体の不自由な方へ協力。支援の必要などについては、積極的に協力しましょう。

●水災害時の避難について
洪水が発生する危険が迫っている時には、予想される浸水の深さによって、とるべき行動が異なります。気象情報の確認とともに日頃からの備えと早めの避難が重要です。気象情報の確認とともに日頃からの備えと早めの避難が重要です。気象情報の確認とともに日頃からの備えと早めの避難が重要です。

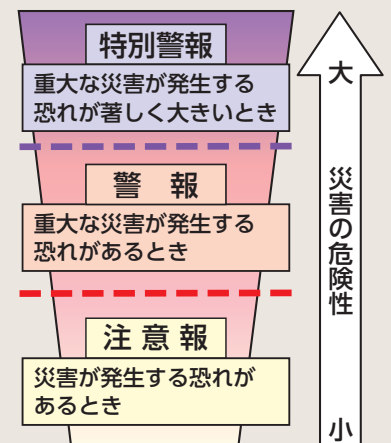
●避難情報の種類

災害時に、市から市民の皆さまに以下の避難情報を発令する場合があります。



●特別警報

特別警報は、警報の発表基準をはるかに超える現象に対して発表されます。もしも、「特別警報」が発表されたら身を守るために最善を尽くしてください。



●非常持出品の確認を

- いざという時のため、日頃から最小限の非常持出品を用意し、リュックサックなど避難時に両手が空くカバンに入れておきましょう。
- | ●非常持出品一覧 | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 3日分程度の食料や水 | <input type="checkbox"/> 当面の衣類、タオル、ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 情報収集に必要なラジオ、携帯電話 | <input type="checkbox"/> 乳幼児がいる家庭ではオムツ、ほ乳瓶 |
| <input type="checkbox"/> 常備薬などの医薬品 | <input type="checkbox"/> 貴重品 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> その他(軍手、ヘルメットなど) |